

男女共同参画計画第四期実施計画策定に対する推進委員会(8月3日)からの意見要旨と検討結果

NO	意見要旨	該当事業	所管課所	検討結果	
1	教職員への啓発資料の配付や研修会の実施において、LGBTに関する資料を配付してほしい。また、生徒がカミングアウトした後の体制を整えてほしい。	(No.16) 教職員に向けた啓発資料の配布	人権・男女共同参画推進課	△	子どもたちの教育に携わる教職員の方々の男女共同参画意識が重要であることから、毎年構成を変えて作成しています。今後作成する資料では、LGBTに関する児童生徒への影響などを加えることも検討します。
		(No.17) 教職員への男女共同参画に関する研修会の実施	指導課	-	平成28年11月に「性別の不一致に悩む児童生徒への対応マニュアル」を作成し、市内小中学校に配付をしました。このマニュアルは、性同一性障害に関する悩みを打ち明けられない児童生徒やカミングアウトの相談などを適切に対応し、体制を整えるためのマニュアルとなっています。また、マニュアルは、教職員用の学校ネットワークシステムにも保存され、各職員がいつでも閲覧できるようになっており、今年4月には、初任者等に対して、マニュアルの周知を行いました。今後、LGBTに関する研修は、人権施策内の研修の中で実施していく予定です。
2	防災活動における男女共同参画の取り組みは、災害時の更衣室やトイレの確保など避難所設営時にはとても重要な視点となる。自治会を対象とした防災活動の男女共同参画の取り組みを実施してほしい。	(No.38) 防災活動における男女共同参画啓発の取り組み	男女共同参画支援センター	○	昨年度実施した、「防災における男女共同参画啓発の取り組み」では、危機管理課の協力のもと「地域防災のありかた」「さまざまな人に配慮する防災を考える」の講座を実施しました。参加者の多くは、自治会関係者となり、自主防災組織を作る一助となりました。引き続き、自治会関係者の方が参加していただける講座の開催を行いたいと考えています。
		(No.36) 防災活動における女性の参画促進	危機管理課	○	本市では、毎年、地区との協働による総合防災訓練や出張講座、ほっと越谷と連携した講座など、様々な機会を通じて、男女共同参画の必要性について、自治会等への周知啓発に努めている。今後についても、男女共同参画をはじめとした様々な視点を踏まえた、防災対策に取り組めるよう、自治会等への積極的な活動支援に努める。
3	自治会の防災備蓄品において、女性への配慮した備蓄品を揃えるため、市から自治会備蓄リストなどを配るようにしてもらいたい。	-	危機管理課	-	防災備蓄品については、家庭や自治会等、それぞれの役割に応じた備えや女性への配慮を含めた内容の、防災に関するパンフレットを作成・配布し、周知啓発に努めている。今後についても、防災に関するパンフレットを活用するとともに、女性に配慮した備蓄品リスト等の作成・配布について、検討する。
4	女性の就労支援のためには、公立の保育所だけでなく、私立の保育園の設置も重要となる。現在、私立の保育園が増えているが、安心、安全の保育所が運営されるため、市が率先して管理・監督していただきたい。	-	子ども育成課	-	公立保育所・私立保育園の運営管理については、市が主体的に行っている。国からの通達については、市から保育所・保育園へ通知するとともに、年1回説明会を実施し、周知を図っている。また、今年度から、越谷市の保育水準の底上げなどを目的に、私立保育園、認定こども園を構成員とした研究会を設置し、市も交え意見交換を行っている。また、指導監督については、施設の運営が適正に行われているか各種法令等に基づく監査を市の福祉指導監査課が実施し、助言及び指導等を行っている。

- 該当する実施計画事業において、実施中又は実施予定です
- △ 該当する実施計画事業において、今後検討します
- 具体的な実施計画事業はありませんが、今後、個別事業において実施・検討します。